

水道料金・下水道使用料の改定に向けて(中)



第1回審議会の様子



市長から審議会へ諮問を行う様子

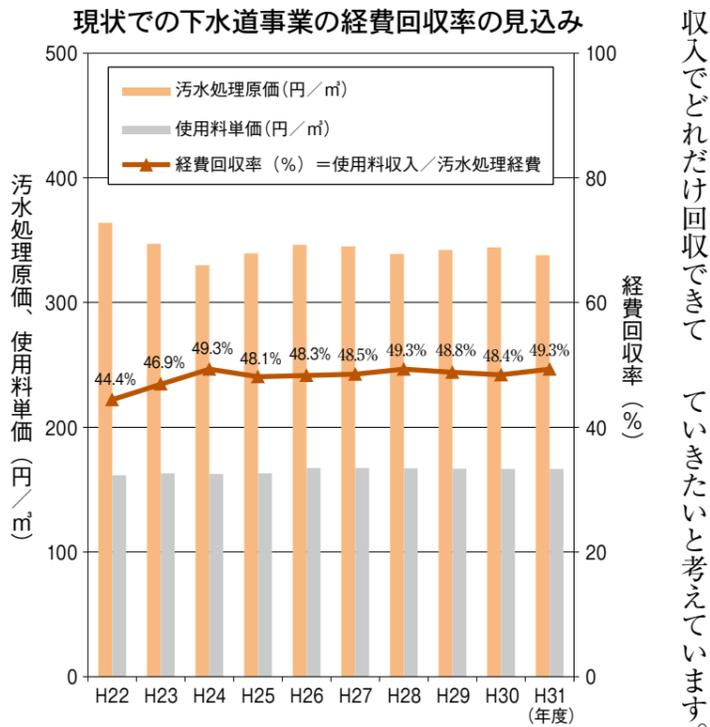
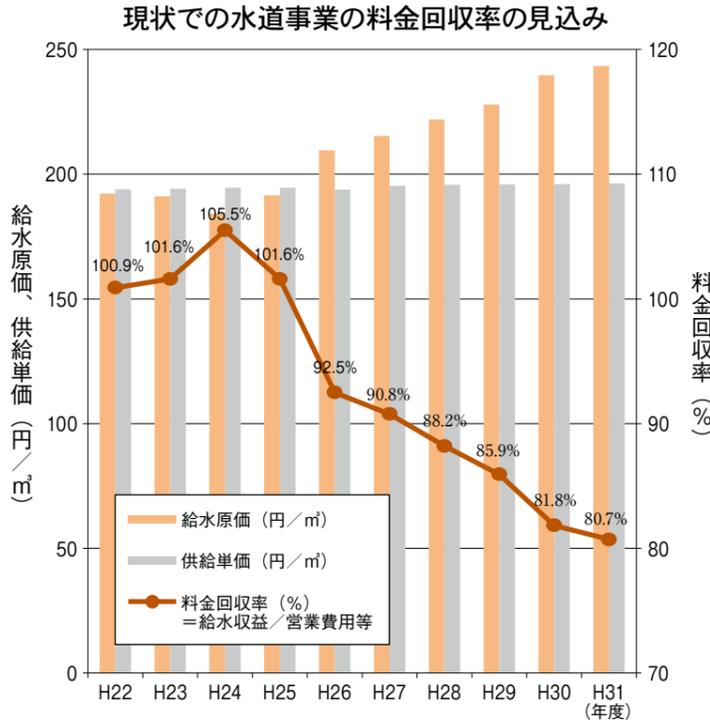
府中市上下水道料金審議会を設置

府中市の水道および下水道事業の健全経営立て直しに向け、府中市上下水道料金審議会を設置しました。審議会は、市の各種団体から選出された使用者代表や学識経験者など、10人の委員から構成されます。第1回審議会では、水道料金と下水道使用料の改定について、戸成市長から審議会へ諮問を行いました。また委員の皆さんに、更新計画や現在の料金体系など、事業の現状を説明しました。審議会は今後数回開催し、今年度中に答申をいただく予定です。

経費を料金収入で賄うことができなくなっています

水道事業経費を水道料金収入でどれだけ回収できているかを表す料金回収率は、平成26年度に100%を割り込み、今後5年間で約80%に落ち込むことが予想されます。料金回収率が100%を下回るといことは、水道料金収入だけでは経費を賄えないことを表します。

水道事業の経営には、税金によらず水道料金などで経費を賄う「独立採算性の原則」があるため、この状況は望ましくありません。水道施設の更新工事や、大規模地震への対応に必要な耐震化工事も控えています。災害や事故による断水など、生活への影響をできるだけ少なくするためにも、財源の確保が必要となります。



下水道

衛生的な暮らしと自然環境を、これからも支えていくために

府中市は国からの補助金と資金貸付により汚水管の整備を行っています。また、供用開始から施設の維持管理も行っていますが、これらの経費を、下水道使用料収入でどれだけ回収できて

いるかを表す経費回収率は、約48%にとどまっています。水道の料金回収率と同様に、経費回収率が100%を下回ることは、下水道使用料収入では経費を賄えないことを表し、不足分を一般会計からの繰入金によって補っている状況です。また合併以降、下水道使用料は府中地区と上下地区の2つの料金体系で運営してきました。今回の改定と同時に、料金統一を検討していきたいと考えています。

水道

安全で安定した水のある暮らしを、これからも支えていくために

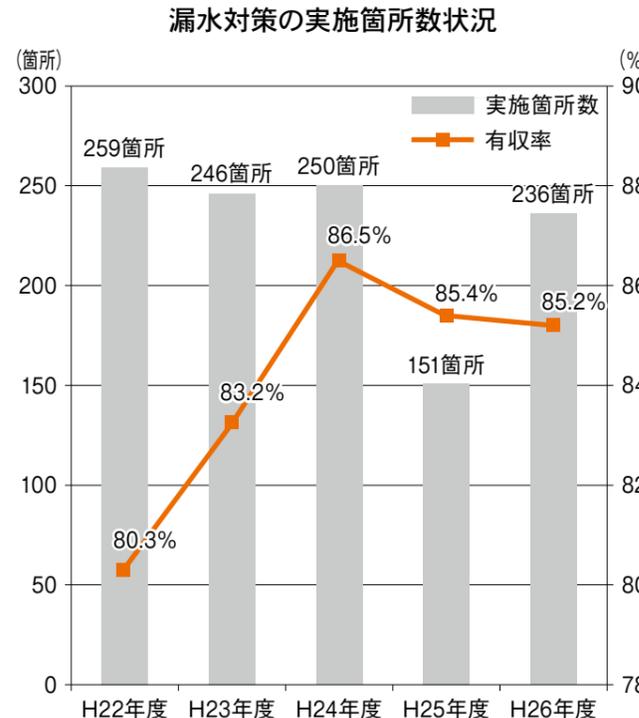
5年間で2千万円の減収

水道事業は、人口減少、節水型給水器具の普及などにより、今後5年間の見通しで、2千万円以上の減収が見込まれます。

水の使用量が減少しても一定の料金収入が確保できるように、料金体系の見直しが必要です。

漏水対策による収益率の増加も頭打ちに

経営健全化のため、市では漏水調査と管路の修理を年間約230箇所行ってきました。しかし、管路の老朽化も進んでおり、有収率（給水量に占める、収益になった水量の割合）の数値は、平成24年度以降横ばいです。



大切なライフラインである上水下水道をこれからもしっかりと守っていくために、ご理解とご協力をお願いします。

※次回、水道料金・下水道使用料の改定に向けて(下)は、広報ふちゅう1月15日号に掲載します。

問い合わせ先 上水下水道課 (☎43-7168)

おわびと訂正

広報ふちゅう11月15日号4・5ページの「水道料金・下水道使用料の改定に向けて(上)」の中で、「下水道の経費回収率」についての記載に誤りがありました。おわびして訂正します。

(誤)

$$\text{経費回収率}(\%) = \frac{\text{汚水処理経費}}{\text{使用料収入}} \times 100$$

(正)

$$\text{経費回収率}(\%) = \frac{\text{使用料収入}}{\text{汚水処理経費}} \times 100$$